

大会アンケート

1 調査・目的

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の開催期間中に、次のことを目的にアンケート調査を実施した。

- (1) 大会参加者及び一般来場者の大会の印象や意見の集約
- (2) 大会参加者及び一般来場者の消費動向の把握
- (3) 大会が県内経済に与えた経済波及効果の推計

2 調査対象・調査方法

(1) 大会参加者アンケート

ア 調査対象：選手、監督、役員等の大会参加者

イ 調査方法：監督会議・各会場等において、アンケート用紙を配布・設置し、各会場にて回収

(2) 一般来場者アンケート

ア 調査対象：ヤマタスポーツパーク（鳥取県立布勢総合運動公園）及び各イベント会場の一般来場者

イ 調査方法：各イベント会場で実施本部員及びボランティアスタッフが一般来場者に声掛けの上、アンケート用紙への記入を依頼し、各イベント会場にて回収

3 回答者数

- (1) 大会参加者アンケート 5,290人（県内：274人、県外：5,000人、不明：16人）
- (2) 一般来場者アンケート 2,274人

4 調査結果

(1) 大会参加者アンケート

ア 回答者属性（不明、無回答を除く）

（年齢）

	年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	その他	回答者数
県内	人数 (構成比)	127人 (46.4%)	103人 (37.6%)	33人 (12.0%)	4人 (1.5%)	7人 (2.6%)	274人
県外	人数 (構成比)	2,534人 (50.8%)	1,804人 (36.1%)	618人 (12.4%)	30人 (0.6%)	7人 (0.1%)	4,993人

（性別）

	性別	男性	女性	その他	回答者数
県内	人数 (構成比)	182人 (66.7%)	91人 (33.3%)	0人 (0.0%)	273人
県外	人数 (構成比)	3,420人 (68.6%)	1,560人 (31.3%)	4人 (0.1%)	4,984人

(居住地)

地 域	人 数	構成比
鳥取県内	274人	5.4%
北海道・東北地方	568人	11.2%
関東地方	958人	19.0%
中部地方	1,051人	20.8%
近畿地方	824人	16.3%
中国地方（鳥取県除く）	452人	9.0%
四国地方	298人	5.9%
九州・沖縄地方	627人	12.4%
回答者数	5,052人	100.0%

(来県回数)

来県回数	人 数	構成比
1 回目（初めて来県）	2,163人	44.0%
2 回目	1,145人	23.3%
3 回目	698人	14.2%
4 回以上	907人	18.5%
回答者数	4,913人	100.0%

(参加した立場)

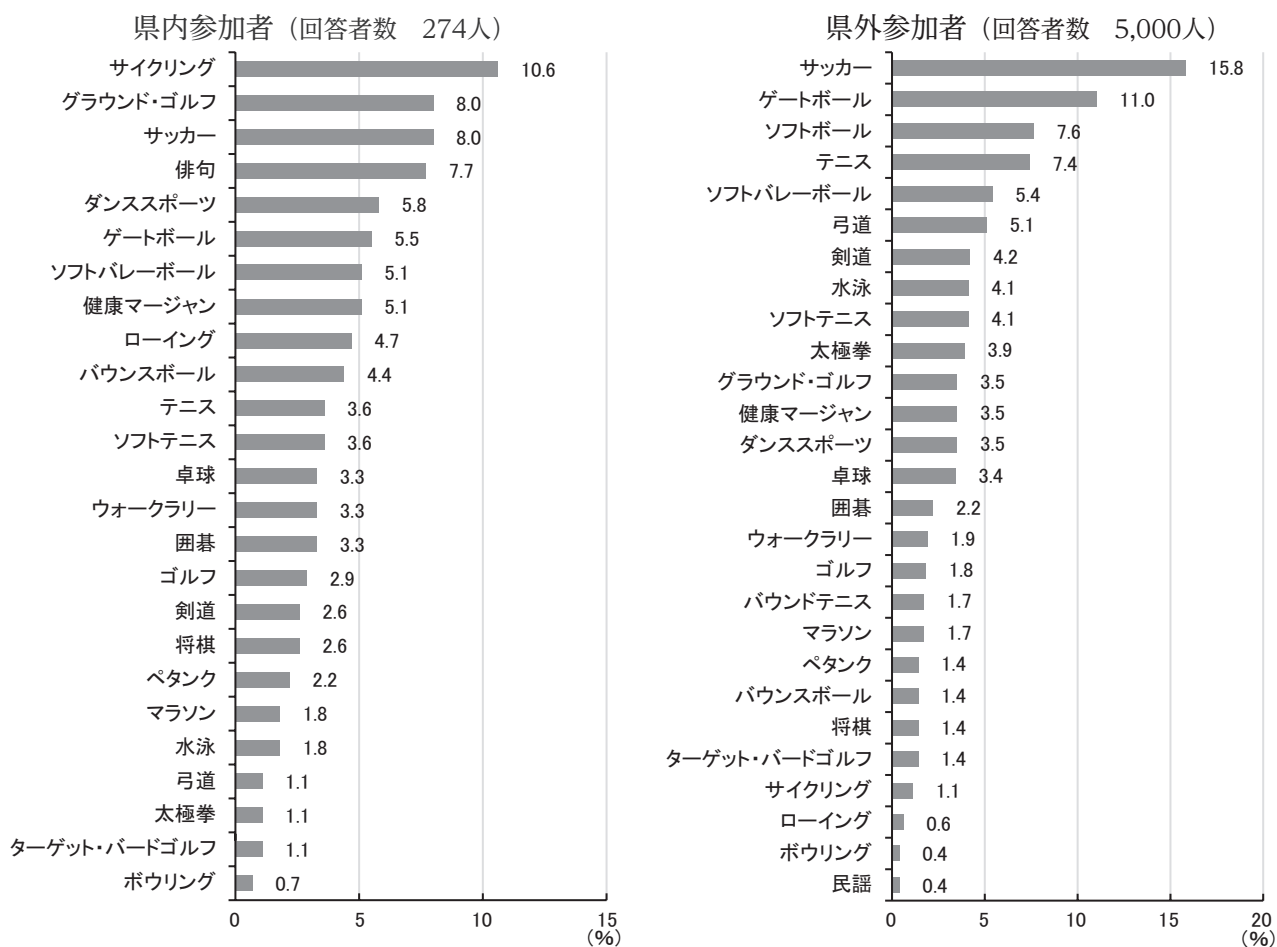
立 場	人 数	構成比
選手・監督	4,979人	97.0%
役員	19人	0.4%
その他	133人	2.6%
回答者数	5,131人	100.0%

(鳥取県内参加者の居住地)

市町村	選手・監督	役員	その他	計	構成比
鳥取市	77	0	8	85	36.5%
米子市	65	1	1	67	28.8%
倉吉市	13	0	2	15	6.4%
境港市	12	0	2	14	6.0%
岩美町	2	0	0	2	0.9%
若桜町	2	0	0	2	0.9%
智頭町	1	0	0	1	0.4%
八頭町	2	0	0	2	0.9%
三朝町	4	0	0	4	1.7%
湯梨浜町	10	0	4	14	6.0%
琴浦町	7	0	0	7	3.0%
北栄町	3	0	0	3	1.3%
日吉津村	3	0	0	3	1.3%
大山町	5	0	0	5	2.1%
南部町	7	0	0	7	3.0%
伯耆町	1	0	0	1	0.4%
日南町	0	0	0	0	0.0%
日野町	0	0	0	0	0.0%
江府町	1	0	0	1	0.4%

イ 参加した交流大会について

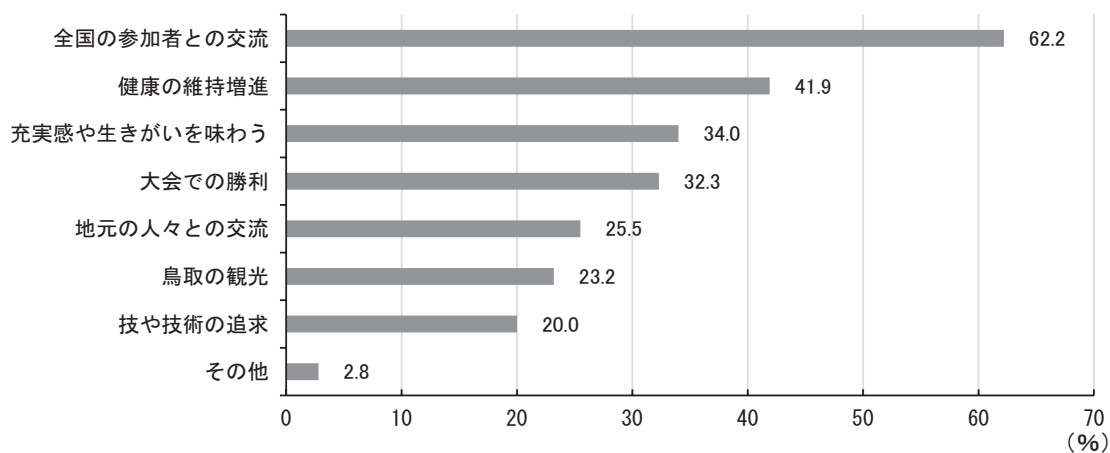
【図表－1】参加した交流大会



ウ 大会に参加した理由

大会に参加した理由は、「全国の参加者との交流」が62.2%と最も多く、以下「健康の維持増進」41.9%、「充実感や生きがいを味わう」34.0%と続く（図表－2）。

【図表－2】大会に参加した理由（複数回答）（回答者数 5,192人）

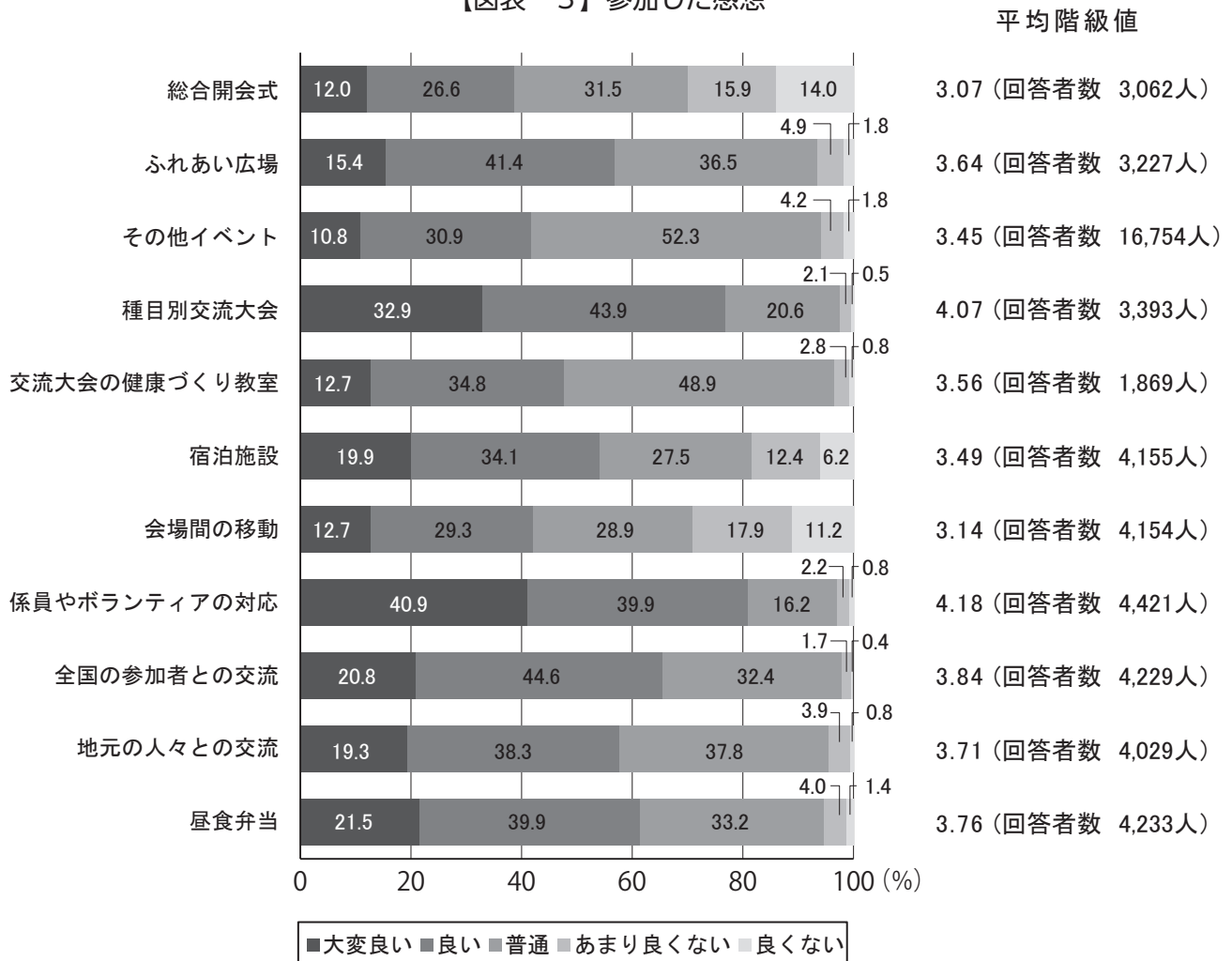


エ 大会に参加した感想

大会に参加した感想は「係員やボランティアの対応」に対する評価が最も高く、「大変良い」及び「良い」の合計が80.8%を占めている(図表-3)。また、「種目別交流大会」については「大変良い」及び「良い」の合計が76.8%、「全国の参加者との交流」では「大変良い」及び「良い」の合計が65.4%を占めている。

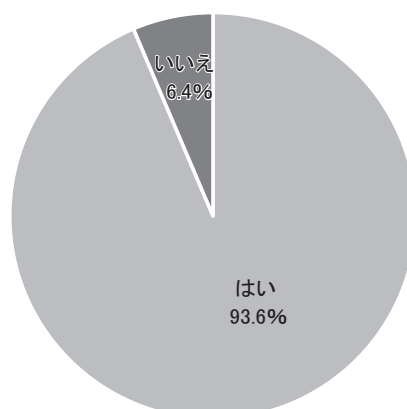
県外選手団を対象にした「鳥取県にまた来たいか」という問いに対しては、「はい」が93.6%を占めている(図表-4)。

【図表-3】参加した感想



※平均階級値は、「大変良い」：5、「良い」：4、「普通」：3、「あまり良くない」：2、「良くない」：1とする平均値

【図表-4】鳥取県にまた来たい(回答者数 4,028人)

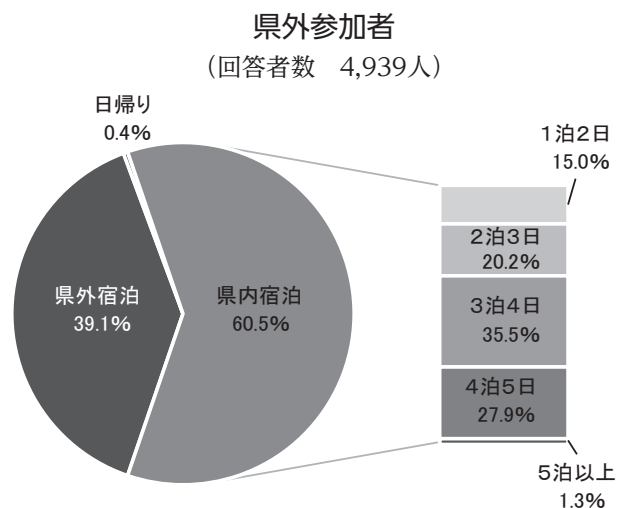
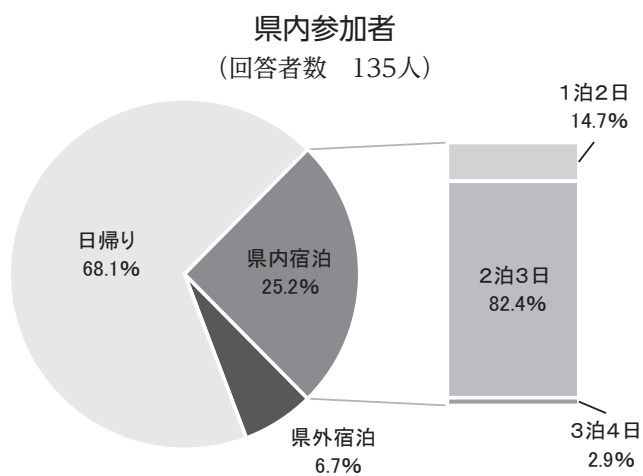
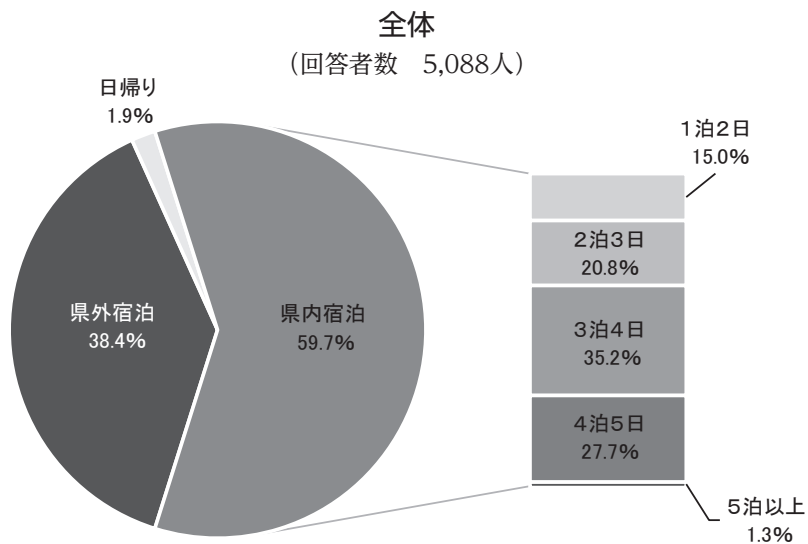


オ 県内の滞在日数と観光予定

観光も含めた鳥取県内への滞在日数は、全体では「3泊4日」の35.2%が最も多いが、85.0%が「2泊以上」滞在している（図表－5）。

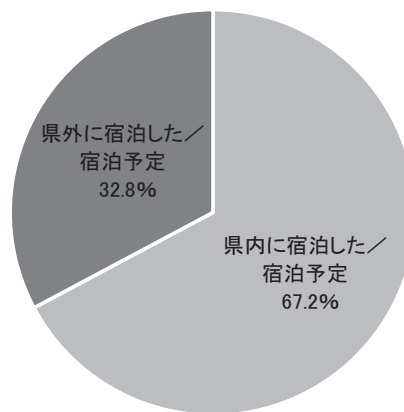
なお、観光のための宿泊については、「県内に宿泊した／宿泊予定」が67.2%となっている（図表－6）。

【図表－5】鳥取県内での滞在日数



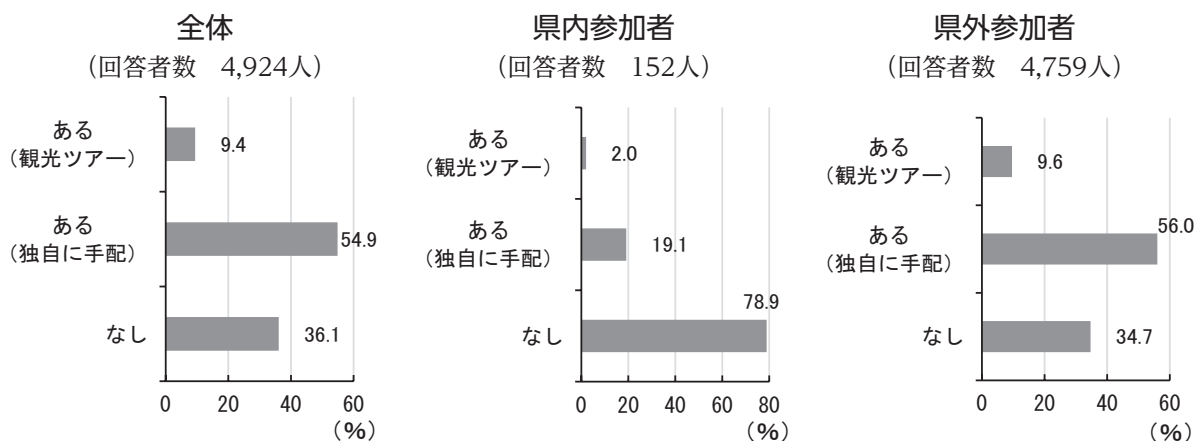
【図表－6】観光のための宿泊（複数回答）

（回答者数 1,863人）

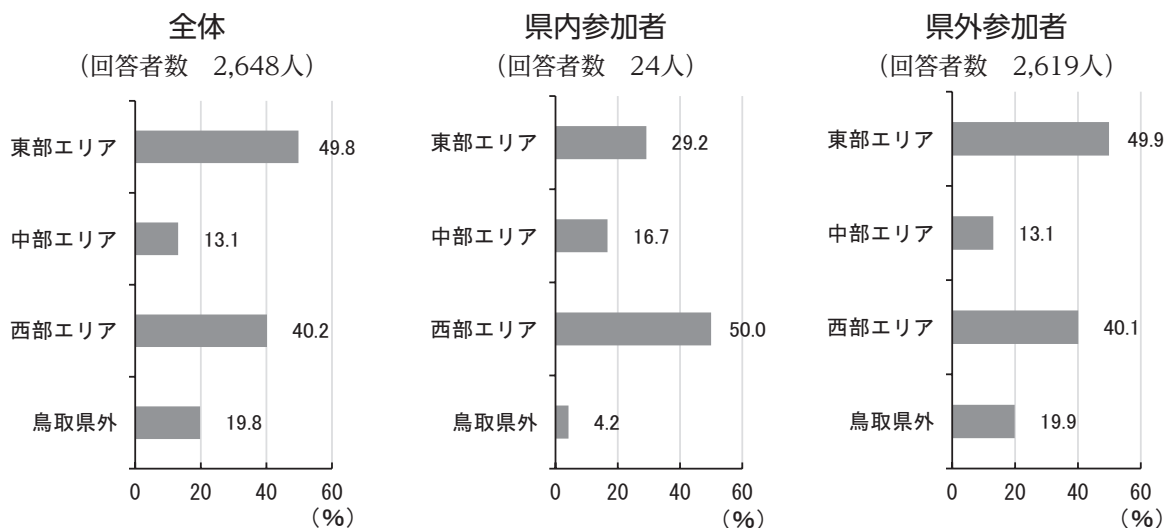


大会期間中及び期間後の観光予定については、全体では「ある」が64.3%で、そのうち「ねんりんピックはばたけ鳥取2024の観光ツアーに申込」が9.4%、「独自に手配して観光」が54.9%となっている（図表－7）。また、旅行先は東部エリアが49.8%、中部エリアが13.1%、西部エリアが40.2%となっている（図表－8）。

【図表－7】観光予定



【図表－8】旅行先（複数回答）

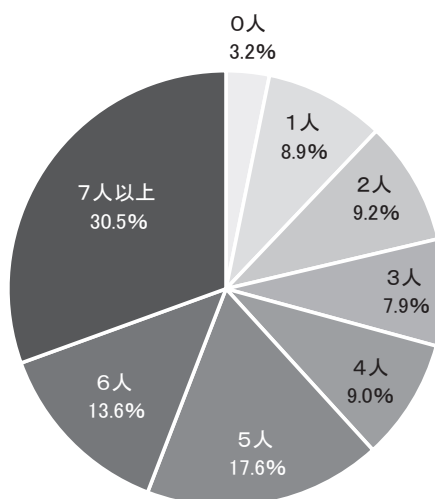


旅行人数については、「7人以上」が30.5%と最も多く、「5人」が17.6%で続く（図表－9）。

また、観光情報の収集方法について、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024観光のご案内」が60.3%と最も多く、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024交通・宿泊ガイド」が29.2%で続く（図表－10）。

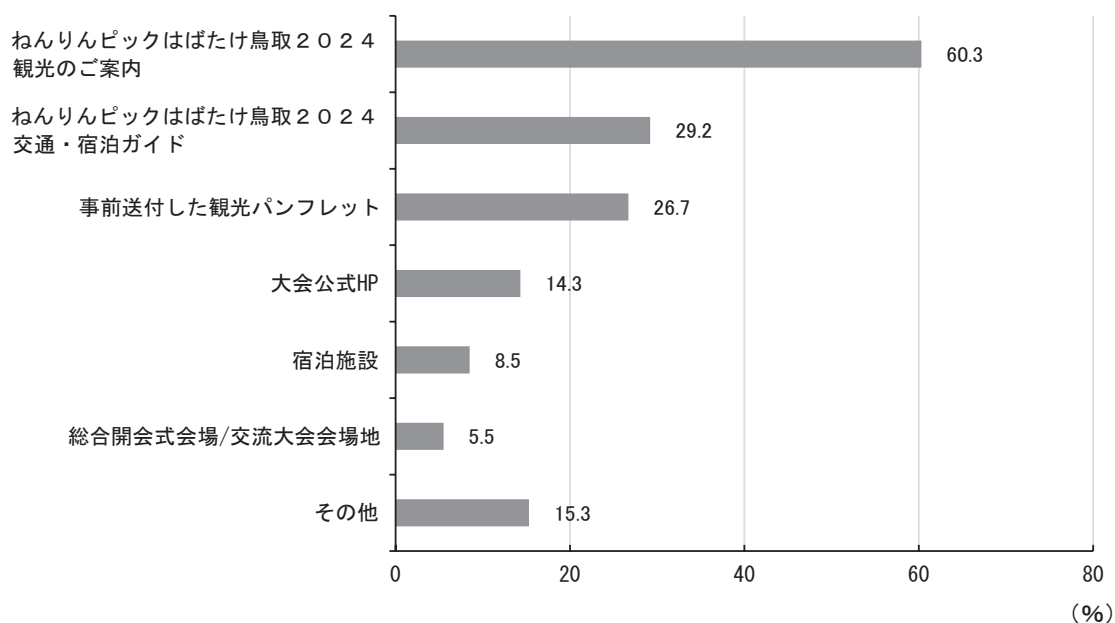
【図表－9】あなた以外の旅行人数

（回答者数 2,561人）



【図表－10】観光情報の収集方法（複数回答）

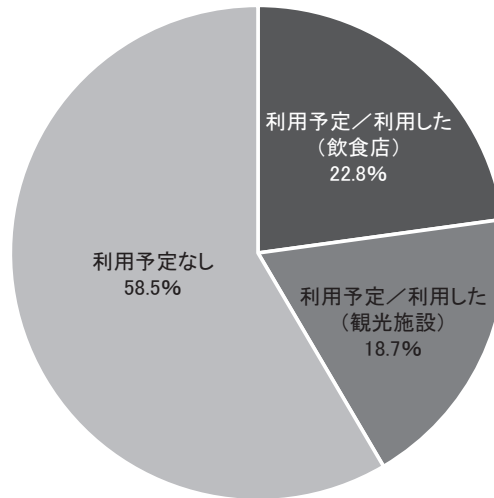
（回答者数 3,133人）



優待特典（飲食店、観光施設）については、「利用予定／利用した」は41.5%であった（図表－11）。また、食べたい・購入したいものが「ある」と回答したのは54.5%であった（図表－12）。

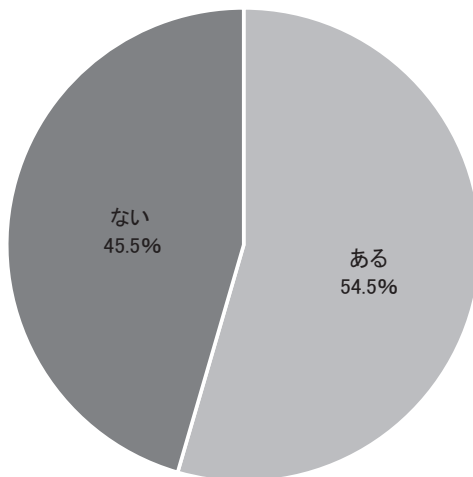
【図表－11】 優待特典の利用予定

（回答者数 4,145人）



【図表－12】 鳥取のまた食べたい・購入したいもの

（回答者数 3,301人）



《回答多数の品目》

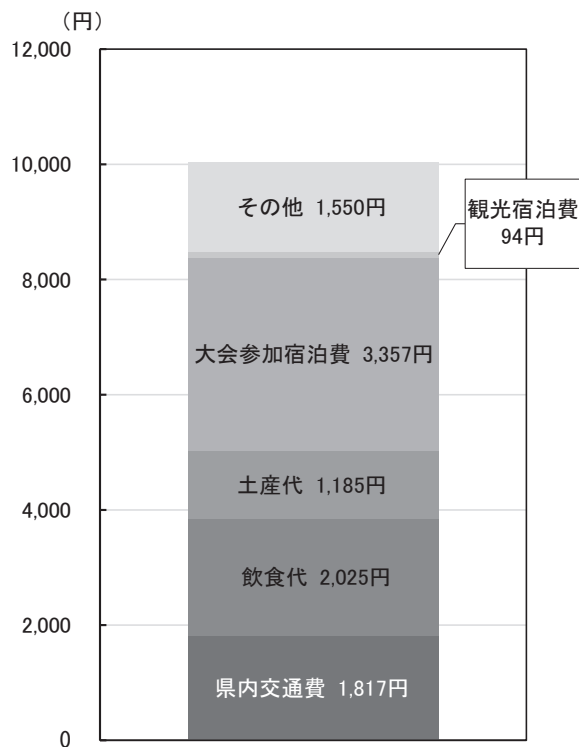
- ・ 梨（二十世紀梨等）
- ・ 因幡の白うさぎ
- ・ かに（松葉がに等）
- ・ らっきょう
- ・ 柿（輝太郎、西条柿等）
- ・ 焼かにせんべい
- ・ 魚介類
- ・ とうふちくわ
- ・ 牛骨ラーメン
- ・ もさえび
- ・ 大風呂敷

他

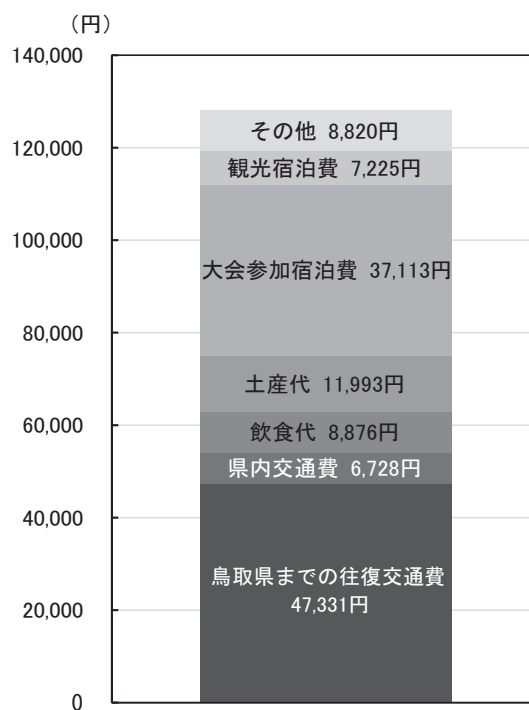
カ 大会参加者の消費支出額

大会参加に際して消費支出した金額は、回答者1人あたりで県内10,028円、県外128,086円となっている（図表－13～図表－21）。

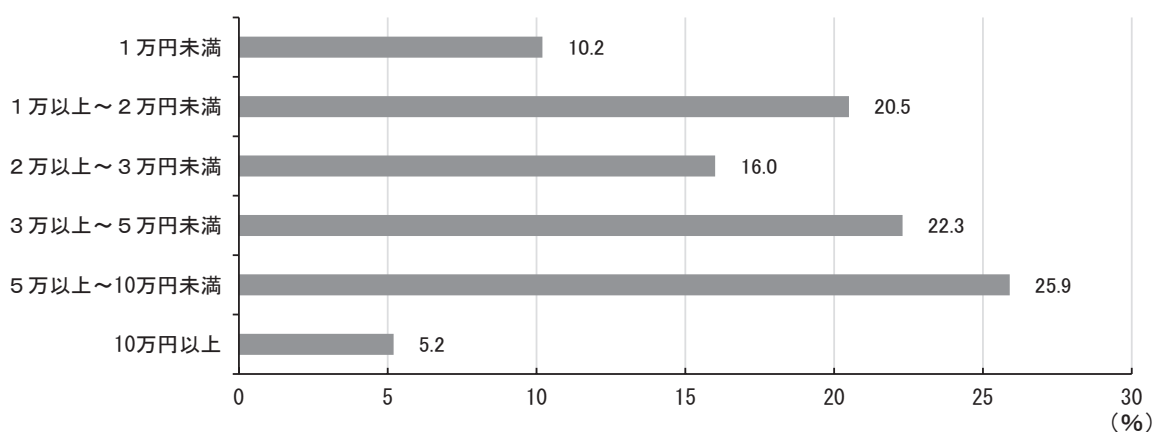
【図表－13】 県内参加者消費支出額
(合計 10,028円)



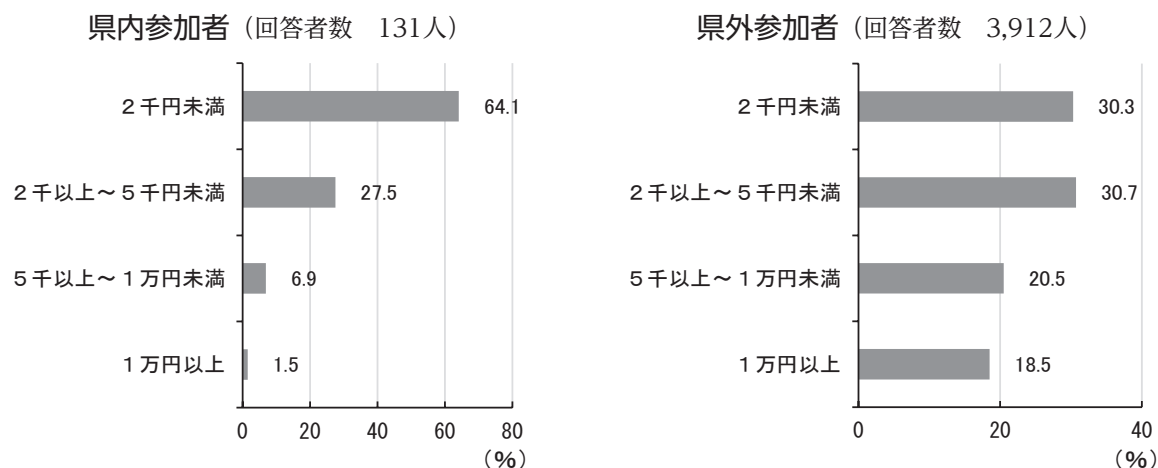
【図表－14】 県外参加者消費支出額
(合計 128,086円)



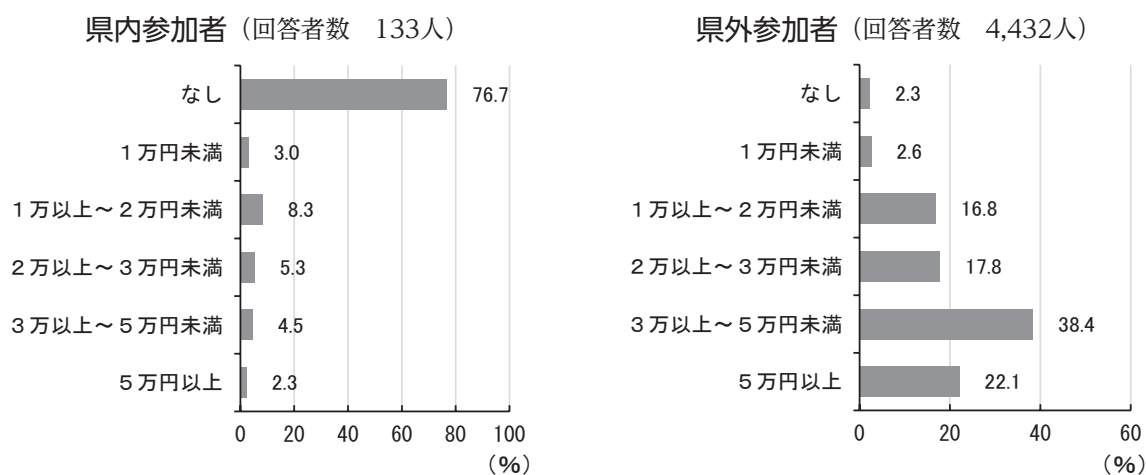
【図表－15】 鳥取県までの往復交通費（県外参加者）
(回答者数 4,518人)



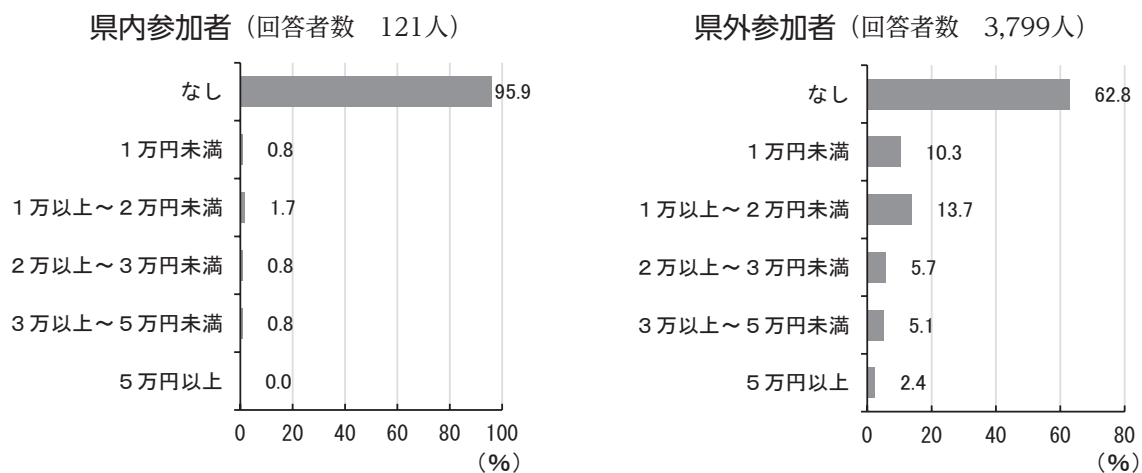
【図表－16】鳥取県内での移動に要した交通費



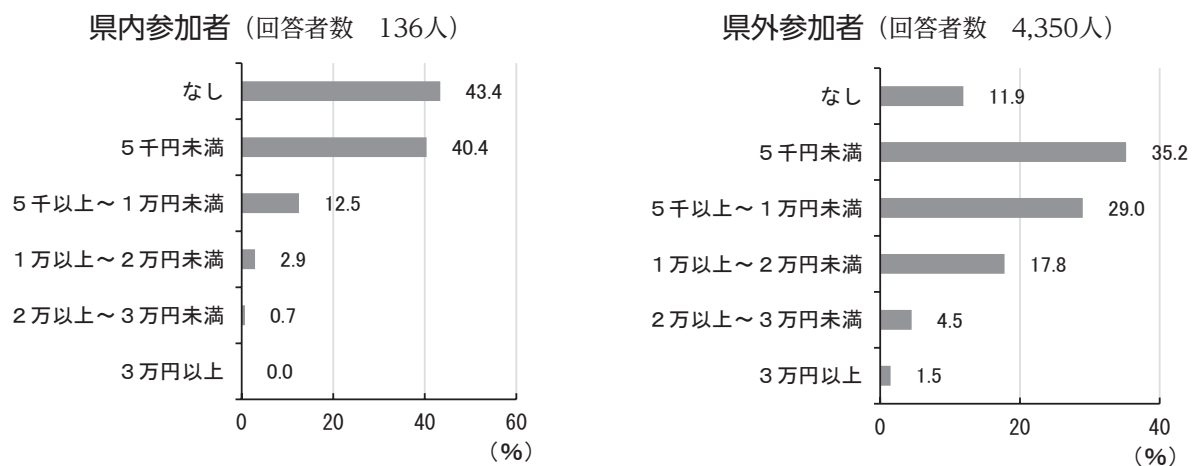
【図表－17】大会参加のための宿泊費



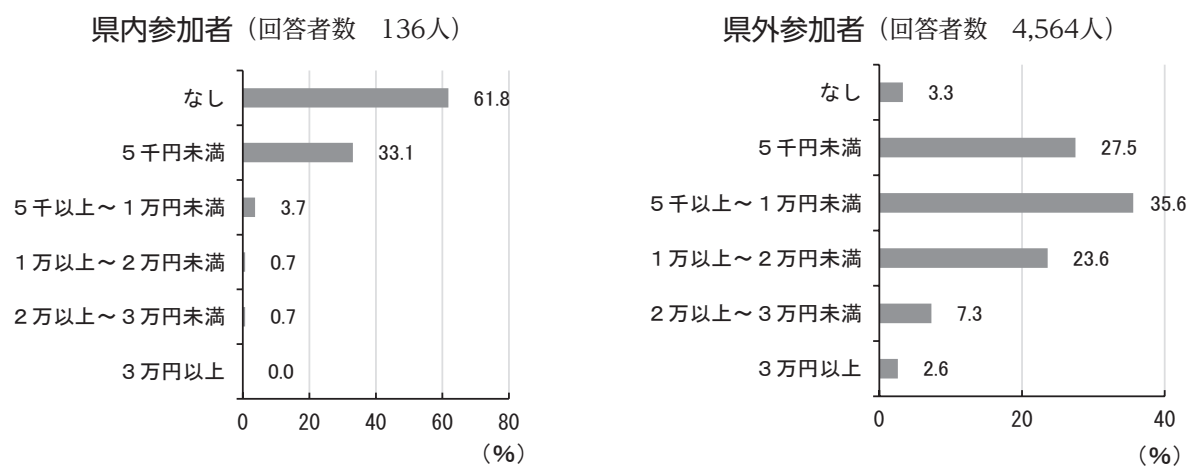
【図表－18】観光のための宿泊費（大会参加のための宿泊費は除く）



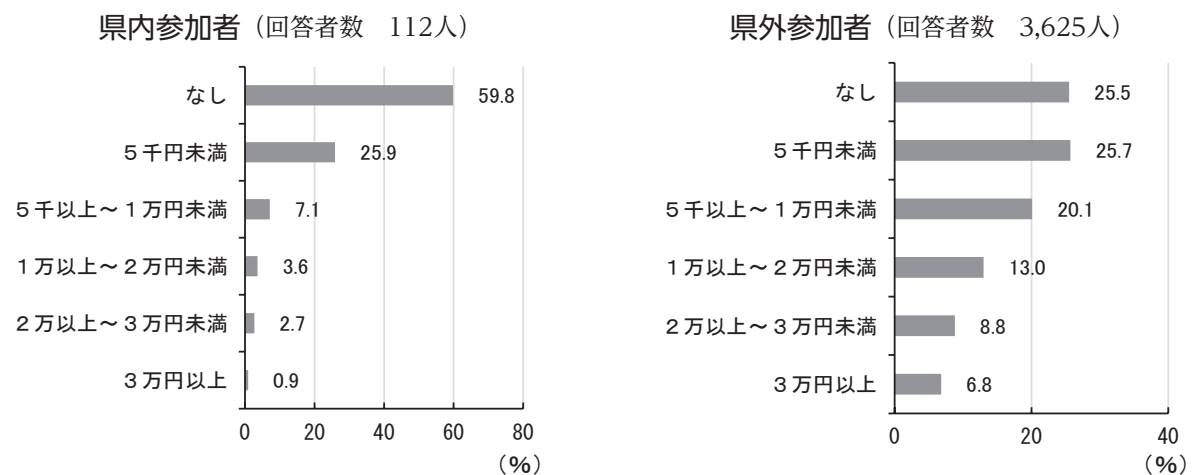
【図表－19】鳥取県内での飲食代



【図表－20】鳥取県内での土産代



【図表－21】その他費用



(2) 一般来場者アンケート

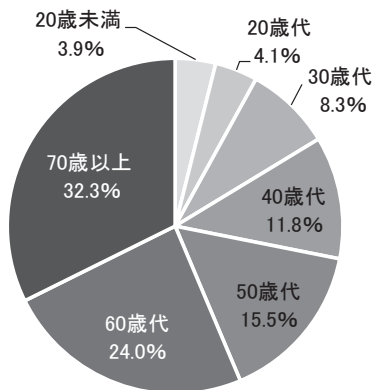
ア 回答者属性

回答者の年代構成をみると、「70歳以上」が32.3%と最も多く、以下「60歳代」が24.0%と続いている（図表－22）。性別構成をみると、「女性」が64.6%を占めている（図表－23）。

居住地で見ると、「県内」が82.7%、「県外」が17.3%となっている（図表－24）。県内市町村別で見ると、「鳥取市」が33.2%となっている（図表－25）。全国地区別で見ると、「中国地方（鳥取県を除く）」が28.7%と最も多く、以下「近畿地方」が22.4%と続いている（図表－26）。

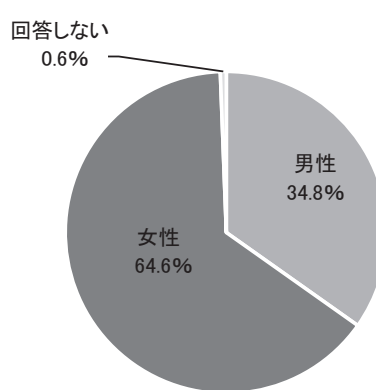
【図表－22】 年齢

(回答者数 2,254人)



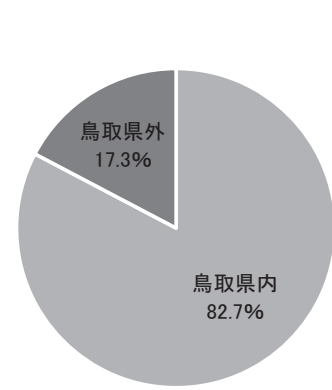
【図表－23】 性別

(回答者数 2,207人)



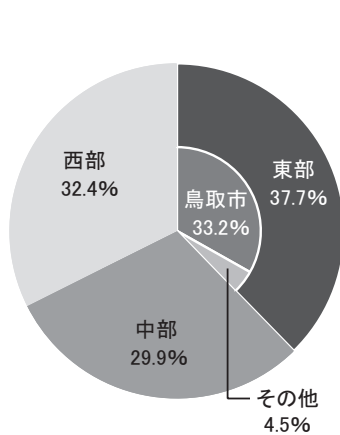
【図表－24】 居住地

(回答者数 2,225人)



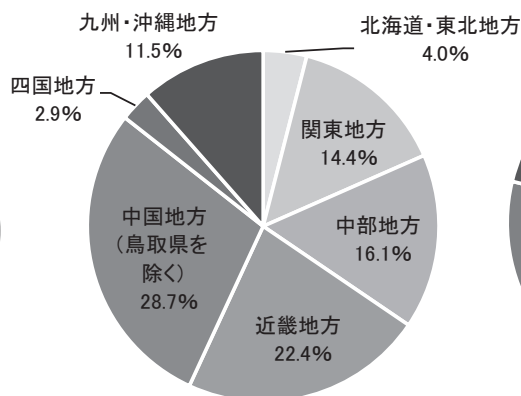
【図表－25】 鳥取県内地区別

(回答者数 1,484人)



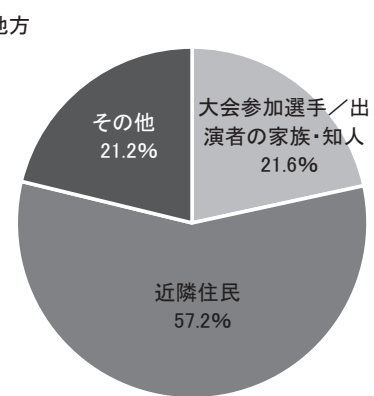
【図表－26】 全国地区別

(回答者数 348人)



【図表－27】 属性別

(回答者数 1,870人)



東部：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

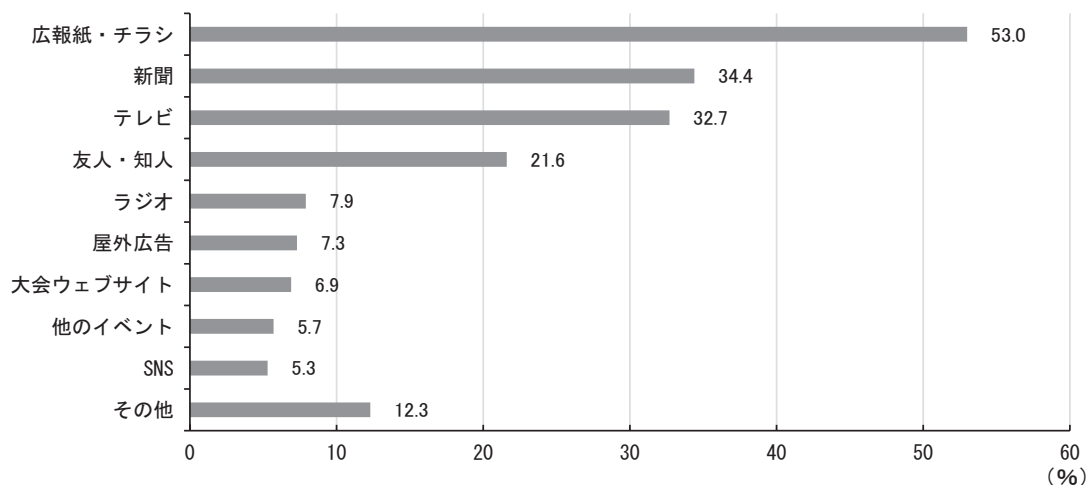
中部：倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

西部：米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

イ 情報源

大会を知った情報源は、「広報紙・チラシ」が53.0%と最も多く、以下「新聞」34.4%、「テレビ」32.7%と続いている（図表－28）。

【図表－28】大会を知った情報源（複数回答）（回答者数 2,193人）

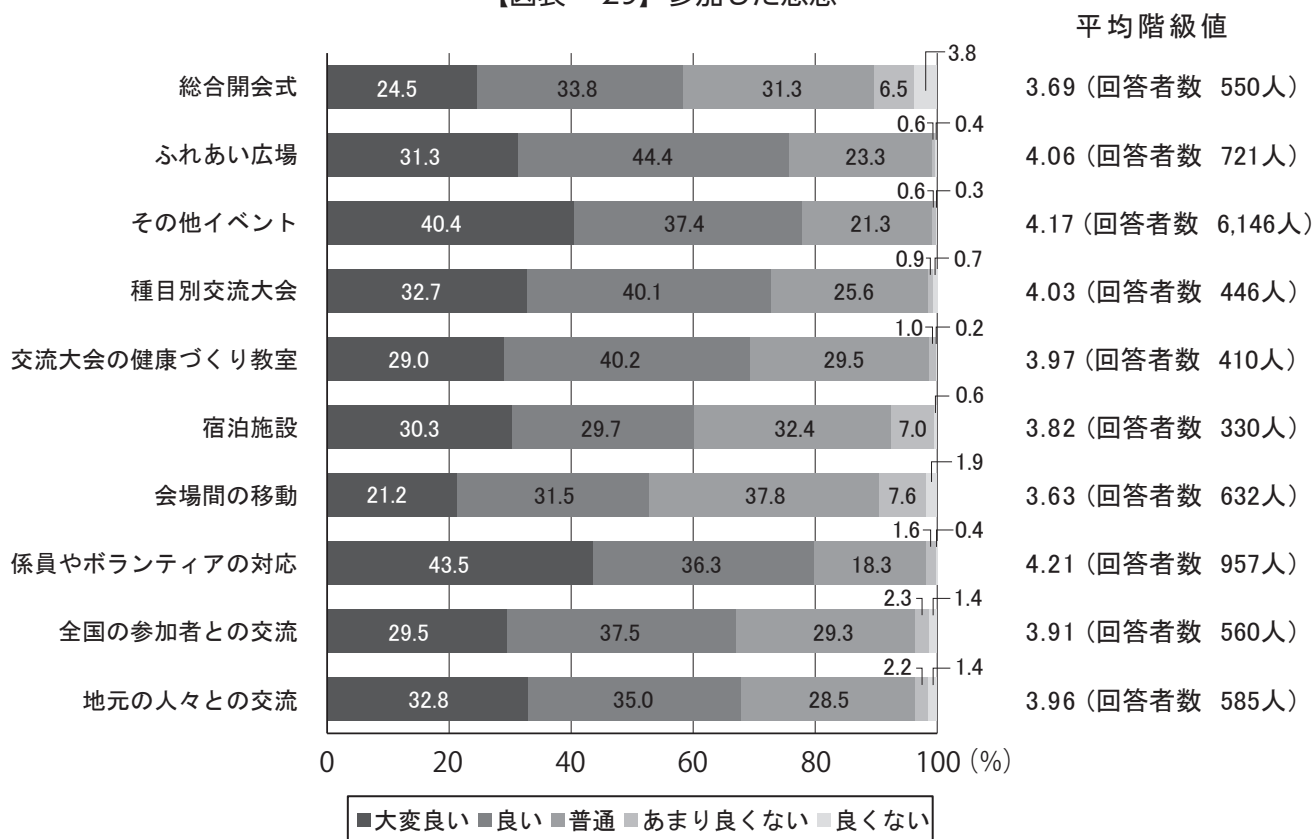


ウ 大会に参加した感想

大会に参加した感想は「係員やボランティアの対応」に対する評価が最も高く、「大変良い」及び「良い」の合計が79.8%を占めている（図表－29）。「その他イベント」（良い以上が77.8%）、「ふれあい広場」（良い以上が75.7%）と続いている。

鳥取県内への滞在日数は、日帰りが81.5%であり（図表－30）、県外居住者を対象にした「鳥取県にまた来たいか」という問いに対しては、「はい」が97.2%を占めている（図表－31）。

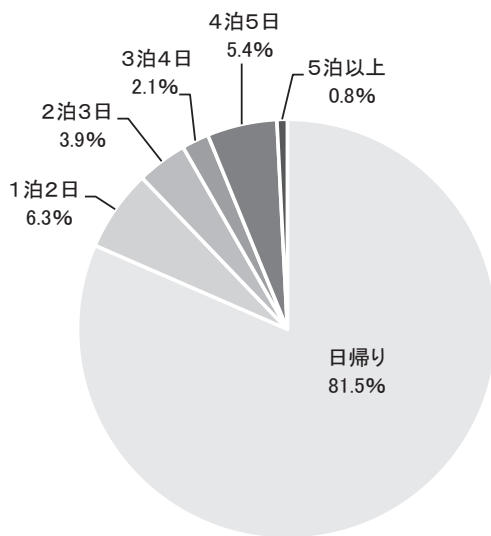
【図表－29】参加した感想



※平均階級値は、「大変良い」：5、「良い」：4、「普通」：3、「あまり良くない」：2、「良くない」：1とする平均値

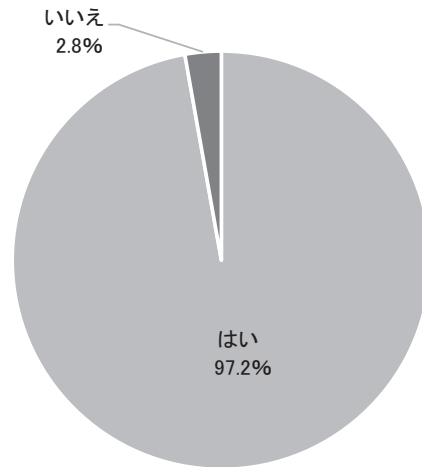
【図表－30】 宿泊日数

(回答者数 1,583人)



【図表－31】 鳥取県にまた来たい

(回答者数 246人)



エ 普段から取り組んでいる活動及び今後取り組んでみたい活動

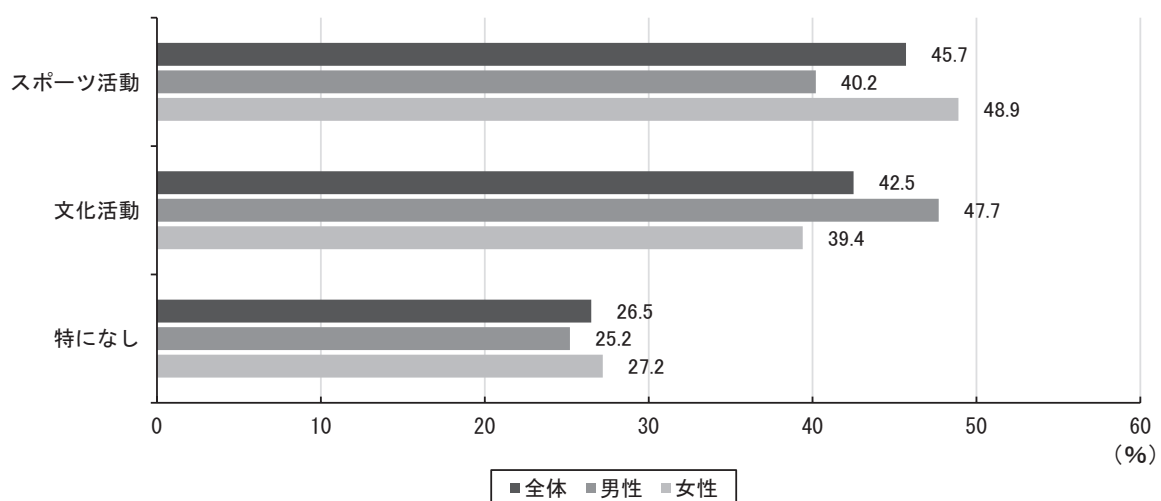
普段から取り組んでいる活動については、「スポーツ活動」が45.7%、「文化活動」が42.5%、「特になし」が26.5%となっている（図表－32）。

スポーツ活動では、「ウォーキング」が42.8%で最も多く、「グラウンド・ゴルフ」10.9%、「ジョギング」8.3%が続いている（図表－33）。

文化活動では、「音楽」が33.8%で最も多く、「書道」14.7%、「写真」12.7%が続いている（図表－34）。

【図表－32】 普段から取り組んでいる活動（複数回答）

(回答者数 1,773人)



【図表－33】 普段から取り組んでいるスポーツ活動
(複数回答) (単位：%)

	男性	女性	全体
ウォーキング	36.5	47.3	42.8
ジョギング	9.2	7.2	8.3
卓球	6.3	6.0	6.2
テニス	4.6	4.3	4.4
ソフトテニス	2.3	1.2	1.7
ソフトボール	2.6	0.5	1.4
ゲートボール	1.0	1.2	1.1
ペタンク	2.0	2.1	2.2
ゴルフ	15.5	1.2	7.2
マラソン	4.6	1.0	2.5
弓道	0.3	1.4	1.0
剣道	0.7	0.2	0.4
ローイング	0.7	0.0	0.3
水泳	4.6	7.2	6.2
グラウンド・ゴルフ	14.8	8.1	10.9
ボウリング	3.6	2.6	3.0
サッカー	6.6	0.5	3.0
ソフトバレーボール	2.3	3.1	2.8
ウォークラリー	0.0	1.4	0.8
太極拳	0.3	2.4	1.5
ターゲット・バードゴルフ	1.0	0.0	0.4
バウンドテニス	0.0	1.4	0.8
ダンススポーツ	1.0	6.2	4.0
サイクリング	3.9	1.7	2.6
バウンズボール	0.7	0.2	0.4
その他スポーツ	7.2	17.4	13.2

【図表－34】 普段から取り組んでいる文化活動
(複数回答) (単位：%)

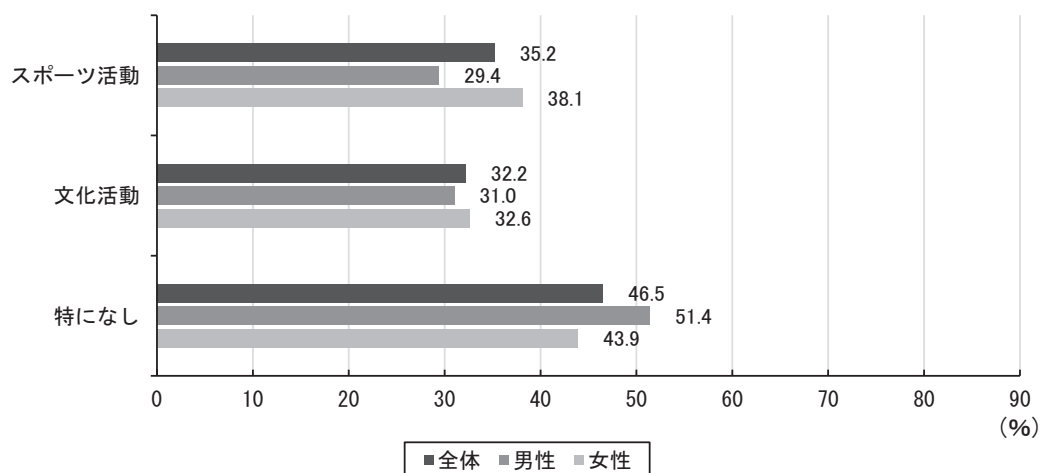
	男性	女性	全体
囲碁	3.2	0.7	1.6
将棋	3.2	0.7	1.6
俳句	3.2	2.8	2.9
民謡	0.0	2.1	1.4
健康マージャン	5.8	1.8	3.2
e スポーツ	5.8	3.2	4.3
日本画・洋画	15.4	6.4	9.5
彫刻・工芸	11.5	6.7	8.4
書道	5.8	19.9	14.7
写真	24.4	6.4	12.7
音楽	25.0	38.3	33.8
その他文化活動	6.4	25.9	18.8

今後取り組みたい活動については、「スポーツ活動」が35.2%、「文化活動」が32.2%、「特になし」が46.5%となっている（図表－35）。

スポーツ活動では、「ウォーキング」が25.6%で最も多く、「サイクリング」8.8%、「ダンススポーツ」8.1%と続いている（図表－36）。

文化活動では、「音楽」が23.1%と最も多く、「書道」15.3%、「eスポーツ」14.8%と続いている（図表－37）。

【図表－35】 今後取り組んでみたい活動（複数回答）（回答者数 1,346人）



【図表－36】 今後取り組んでみたいスポーツ活動
(複数回答) (単位：%)

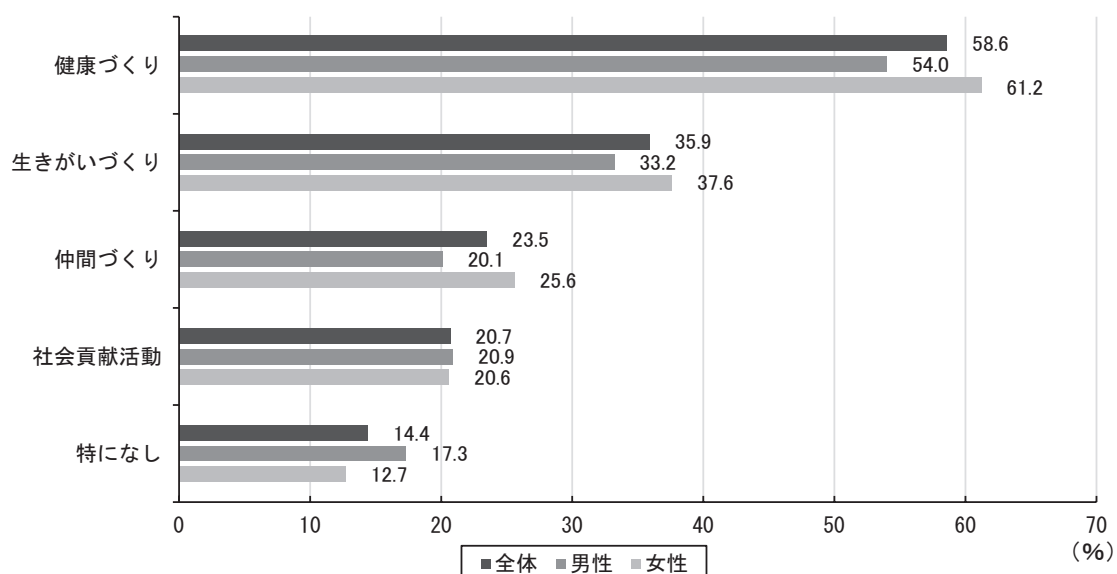
	男性	女性	全体
ウォーキング	20.0	28.2	25.6
ジョギング	3.7	4.5	4.2
卓球	6.7	7.6	7.2
テニス	5.2	3.8	4.2
ソフトテニス	0.7	1.0	0.9
ソフトボール	3.7	0.0	1.2
ゲートボール	1.5	1.0	1.2
ペタンク	2.2	2.7	2.8
ゴルフ	7.4	1.4	3.2
マラソン	7.4	1.4	3.5
弓道	1.5	4.8	3.9
剣道	2.2	1.0	1.4
水泳	2.2	8.9	6.7
グラウンド・ゴルフ	8.9	4.8	6.2
ボウリング	4.4	2.1	2.8
サッカー	3.7	0.7	2.1
ソフトバレーボール	0.7	1.7	1.6
ウォークラリー	3.7	4.5	4.4
太極拳	4.4	9.6	7.9
ターゲット・バードゴルフ	1.5	0.0	0.5
バウンドテニス	2.2	2.7	2.5
ダンススポーツ	2.2	11.0	8.1
サイクリング	14.1	6.5	8.8
バウンズボール	3.0	4.8	4.2
その他スポーツ	5.2	5.5	5.3

【図表－37】 今後取り組んでみたい文化活動
(複数回答) (単位：%)

	男性	女性	全体
囲碁	4.3	1.2	2.3
将棋	7.1	1.2	3.5
俳句	3.5	8.7	7.0
民謡	0.7	1.2	1.0
健康マージャン	16.3	9.9	12.1
e スポーツ	17.0	13.1	14.8
日本画・洋画	9.9	6.0	7.3
彫刻・工芸	16.3	8.7	11.3
書道	9.2	19.0	15.3
写真	16.3	7.1	10.6
音楽	12.1	29.4	23.1
その他文化活動	4.3	10.3	8.0

オ 大会をきっかけとして取り組みたいと思ったこと

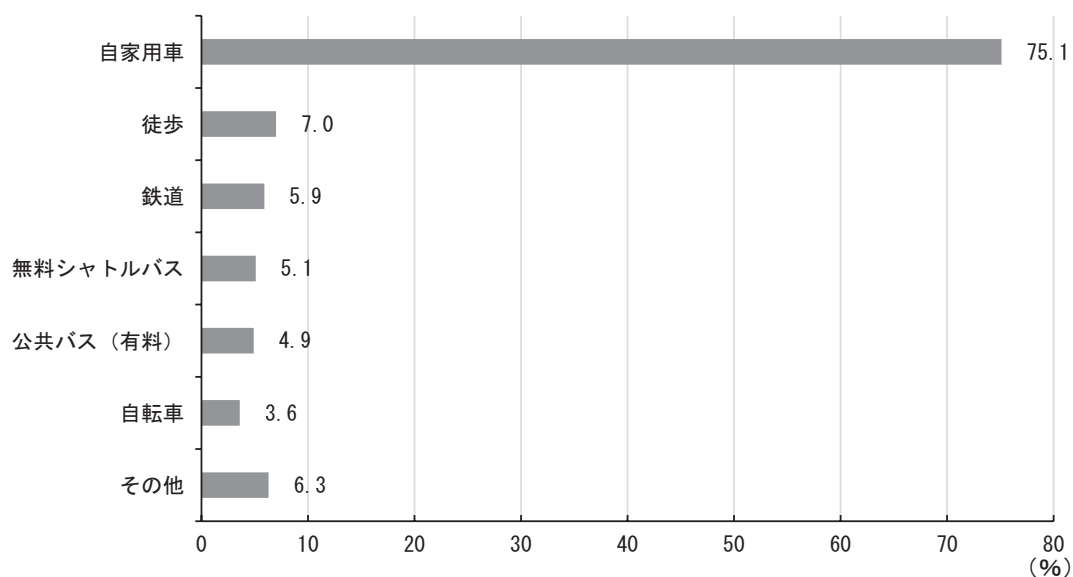
大会をきっかけとして今後取り組みたいと思ったことは、「健康づくり」が58.6%と最も多く、「生きがいづくり」35.9%、「仲間づくり」23.5%と続いている（図表－38）。

【図表－38】 大会をきっかけとして、取り組みたいと思ったこと（複数回答）
(回答者数 1,562人)

カ 会場までの交通手段

会場までの交通手段については、「自家用車」が75.1%と最も多く、「徒歩」7.0%、「鉄道」5.9%と続いている（図表－39）。

【図表－39】会場までの交通手段（複数回答）（回答者数 2,095人）



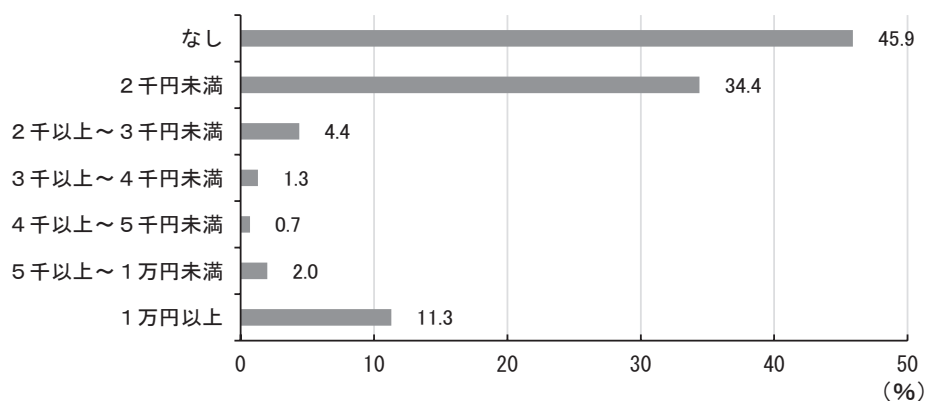
キ 一般来場者の消費支出額

来場に際して消費支出した金額は、回答者1人あたり15,034円となっている。費目別にみると、「往復交通費」4,121円、「飲食代」2,564円、「土産代」1,631円、「宿泊費」4,223円、「その他」2,495円となっている（図表－40～図表－45）。

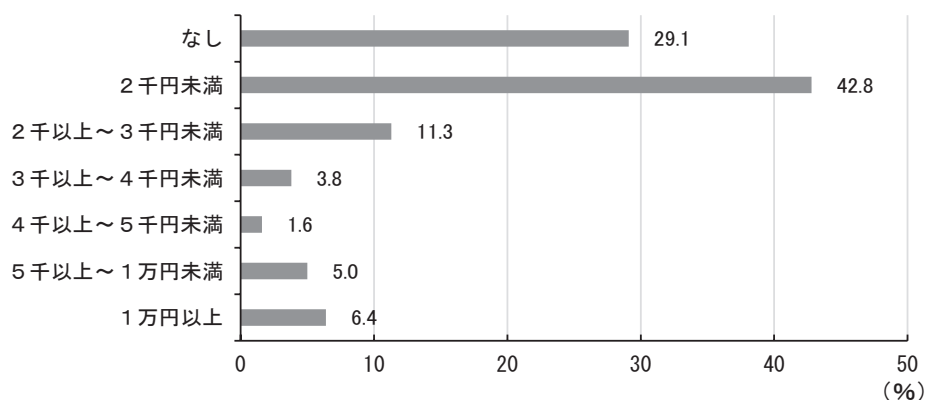
【図表－40】一般来場者1人あたりの消費支出額
（合計 15,034円）



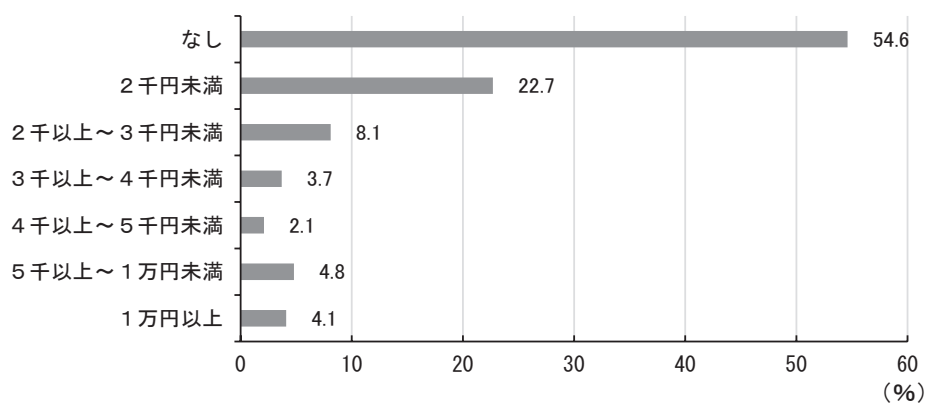
【図表－41】会場までの往復交通費（回答者数 1,757人）



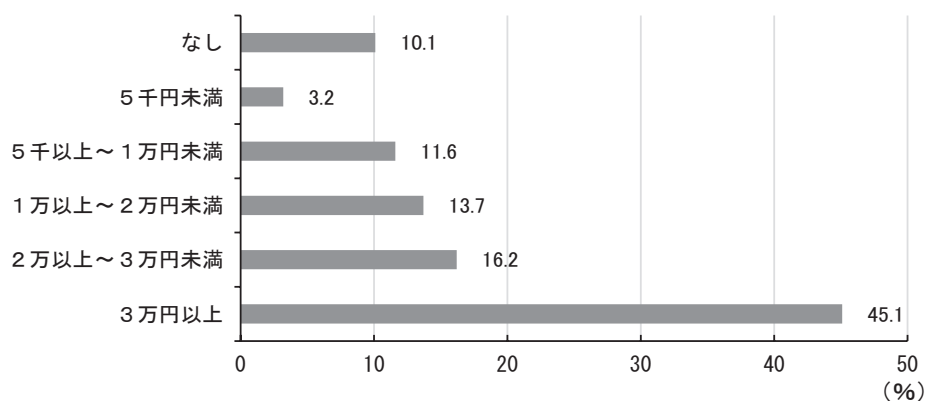
【図表－42】飲食代（回答者数 1,739人）



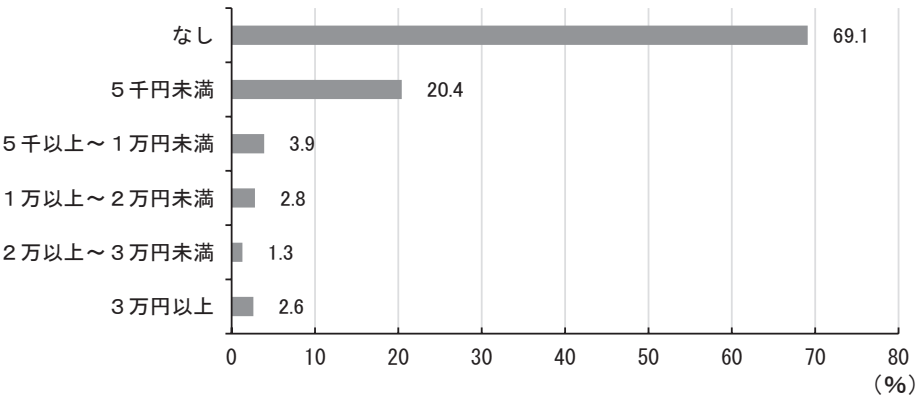
【図表－43】土産代（回答者数 1,647人）



【図表－44】宿泊費（回答者数 277人）



【図表－45】 その他費用（回答者数 1,478人）



5 経済波及効果

大会アンケートの集計結果等をもとに、株式会社情報サービス鳥取が分析した経済波及効果は、次のとおり、131億4,800万円となった。

【図表－46】 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の経済波及効果

(単位：百万円)

	総支出額	経済波及効果 (A)				誘発効果 (倍)
			直接効果 (B)	間接効果		(A) ÷ (B)
				1次波及効果	2次波及効果	
大会事業費	3,007	2,795	1,853	503	438	1.51
大会参加者・一般来場者の消費支出額	8,129	10,353	6,575	2,398	1,380	1.57
合 計	11,136	13,148	8,428	2,901	1,818	1.56

注1：四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。
注2：大会事業費は、令和3～6年度に県及び市町村が大会のために要した額（令和3～5年度は決算額、令和6年度は予算額）
注3：「大会参加者・一般来場者の消費支出額」は、アンケート及び県資料をもとに推計した額。